

ONS 15454 および ONS 15327 での TL1 セッションのセットアップ

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[背景説明](#)

[CTC による TL1 セッション](#)

[LAN 上の Telnet による TL1 セッション](#)

[クラフト ポートを通じた TL1 セッション](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco ONS 15454 または ONS 15327 で Transaction Language 1 (TL1) セッションを設定するための 3 つのオプションについて説明します。ユーザが ONS 15454 または ONS 15327 用にノードにログインしている期間がセッションと呼ばれます。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は次のトピックについて理解している必要があります。

- Cisco ONS 15454

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ONS 15454 バージョン 4 -すべて。
- Cisco ONS 15454 バージョン 3 - 3.3.0 およびそれ以降。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

背景説明

この3つのオプションの助けによって ONS 15454 および ONS 15327 の TL1 セッションを開くことができます:

- Cisco Transport Controller (CTC)
- Telnet
- 技術インターフェイス

これらのオプションの何れかによって TL1 セッションにアクセスするとき TL1 パスワード (PID) は覆われます。これらのオプションの何れかのログアウト、セッション閉じる時。ONS 15454 および ONS 15327 は最大誰のでも 20 同時 TL1 セッション (19 人の Telnet セッションおよび 1 技術セッション) またはこれらのオプションの組み合わせを可能にします。

CTC による TL1 セッション

TL1 セッションを CTC によって開くために、これらのステップを完了して下さい:

1. TCP/IP 接続がある PC からの ONS 15454 または ONS 15327 への Netscape か Internet Explorer を開始して下さい。
2. Netscape または Internet Explorer ウェブアドレス (URL) フィールドで ONS 15454 または ONS 15327 のためのノードの IP アドレスを入力して下さい。
3. CTC にログインして下さい。
4. [図 1](#) に示すように Tools > Open TL1 Connection の順にクリックして下さい。[図 1 – TL1 接続を開いて下さい](#)
5. SELECT ノード ダイアログボックスからノードを選択して下さい。それから [図 2](#) に示すように『OK』をクリックして下さい。[図 2 – SELECT ノード](#)
6. TL1 インターフェイス ウィンドウは [図 3](#) に示すように、表示する。TL1 インターフェイス ウィンドウに 3 つのサブ・ウィンドウがあります: 履歴、メッセージ ログおよび TL1 要求を要求して下さい。TL1 要求 ウィンドウの Type コマンド。応答はメッセージ ログ ウィンドウに現われます。要求履歴ウィンドウは前のコマンドを取得することを可能にします。これを行うため、ちょうどそれらをクリックするため。[図 3 – TL1 インターフェイス ウィンドウ](#)
7. TL1 セッションを開く TL1 要求 ウィンドウの **activate user** コマンドをタイプして下さい

```
:ACT-user::<User ID>:<ctag>:<password>;
```

LAN 上の Telnet による TL1 セッション

LAN 接続上の Telnet セッションの TL1 コマンドにアクセスする 3 つの利用可能なポートがあります。それらは [図 4](#) ポート番号 3082 に示すように 2361、3082 および 3083 です未加工 TCP/IP ポートです。それはエコーしないし、ユーザをプロンプト表示しません。ポート番号 3083 は telnet Telnet プロトコルおよび関連するエスケープシーケンスを使用する Telnet ポートです。ポート番号 2361 は以前のリリースとの下位互換性のためにサポートされ、ポート 3083 (Telnet ポート) と同じ動作があります。次の手順を実行します。

1. [Start] > [Run] の順に選択します。

2. **cmd** を実行プロンプター席で入力し、『OK』 をクリックして下さい。
3. DOSのコマンドプロンプト型:telnet <node ip address or node name> <port number> and press Enter.
4. TL1 セッションを開く **activate user** コマンドをタイプして下さい:ACT-user::<User ID>:<ctag>:<password>;

図 4 –ポート 2361、3082 および 3083 を通した LAN 上の TL1 セッション

クラフト ポートを通した TL1 セッション

ブラウザの代わりに、ONS 15454 か ONS 15327 にアクセスして TCC/TCC2/TCC+ か XTC で利用可能である 9 ピン クラフト ポート (RS-232 ポート) を使用して下さい。クラフト ポートは TL1 コマンドがブラウザなしで直接入力することができること VT100 エミュレーションをそのような物サポートします。次の手順を実行します。

1. アクティブ TCC/TCC+/TCC2 または XTC カードのクラフト ポートにシリアルケーブルを接続して下さい。
2. PC のハイパーターミナルを開始して下さい。
3. [図 5](#) に示すようにドロップダウン リストからフィールドを使用して接続応答の正しい COMポートを、選択して下さい。[図 5 –正しい COMポートを選択して下さい](#)
4. 1 にどれもに 8 に 9600 にビット/秒、データビット、パリティ、ストップ・ビットおよびどれもに [図 6](#) に示すようにフロー制御を、設定しないで下さい。[図 6 – COMポートの設定](#)
5. 入力 キーを押して下さい。 > [図 7](#) に示すように、現われます。
6. TL1 セッションを開く **activate user** コマンドをタイプして下さい:ACT-user::<User ID>:<ctag>:<password>;

図 7 –クラフト ポートおよびハイパーターミナルによる TL1 セッション

関連情報

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)